CLUB REPORT クラブ・リポート

●投稿要領：アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に。700字程度。解像度の高い写真を添付。投稿者名と役職を明記。Eメールまたは郵送で。送付先は57ページ下。

※写真に100周年ロゴが付いた活動は100周年記念奉仕事業として国際協会に報告された事業

335-B地区

大阪北ライオンズクラブ

さまざまな企画で人を集める糖尿病講演会実施

4月22日、大阪北ライオンズクラブ（福長俊之会長／38人）は結成56周年記念事業の一つとして糖尿病講演会を開催した。

糖尿病という名前は誰もが知っているが、「太っている人の病気」「暴飲暴食」「不摂生」などのイメージ、「尿に糖が出るだけ」「放っておいても大丈夫」と軽く考えている方も多い。そこで今回の講演会は「知ってるつもりの糖尿病」と題し、糖尿病について分かりやすく説明。講師は大阪市立十三市民病院糖尿病内科部長の日浦義和先生にお願いした。

糖尿病の症状は自分で気付きにくく、一度発症したら、完治は難しいとされている。病気にかからないことが第一だが、定期的な検診による早期発見、治療を行うことで、健常な方と変わらない予後を送ることが出来る。今回の講演会では、糖尿病についての正しい知識や対策を学ぶことが出来、参加者にとって、自分自身の生活習慣を見直す機会となったのではないだろうか。

また、病気に関心のない方にも講演会に参加頂けるよう、第2部には朗読劇「ビルマの竪琴」を実施した。出演は元NHKうたのおねえさんである田中あつ子さん、髙野久美子さん、倉本洋子さん。ピアノの音色にのせた美しい朗読と歌での上演は圧巻の出来。会場のあちらこちらからは、すすり泣きが聞こえてきた。

今回の事業では、どうすれば多くの方に関心を持ってもらえるのか、クラブ・メンバー皆で意見を出し合い、無料血糖値検査や朗読劇の上演、抽選会などさまざまな企画を実施した。このかいもあり、予定を大幅に上回る来場者と「来て良かった」との言葉に会員皆で喜んでいる。

（MC委員長／北浦廣基）